

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第4部門第1区分  
 【発行日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【公開番号】特開2001-279792(P2001-279792A)

【公開日】平成13年10月10日(2001.10.10)

【出願番号】特願2000-97681(P2000-97681)

【国際特許分類】

**E 03 D 11/02 (2006.01)**

【F I】

E 03 D 11/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月27日(2007.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

汚物を受けるボール部内を洗浄する洗浄水を、外部から供給するための孔である供給孔と、前記ボール部内の汚物を排出するための開口であり、排水路と連通される排出口と、該排出口と対向する位置に設けられた孔である噴出孔と、該供給孔と該噴出孔とを連通する流路である導水路とを有する水洗便器であって、前記導水路は、前記供給孔から前記ボール部方向に向かう第一の流路と、該第一の流路の終端の連通部において該第一の流路と連通し、該連通部から前記噴出孔までを旋回形状で連通する第二の流路を備えており、前記第一の流路内の前記連通部と対向する位置に、前記洗浄水の進行方向を前記第二の流路の始端付近の流路方向に向けるガイド体を配置した水洗便器。

【請求項2】

前記水洗便器は、サイホン作用を利用して前記ボール部の洗浄を行なうサイホンゼット式便器である請求項2に記載の水洗便器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0004】**

一方、近年の便器は、便器内部に供給された洗浄水を、便器後方に形成された供給孔から前方に向かって導水し、排出口から便器の後方に向かって汚物を排出するタイプが主流であり、このようなタイプの便器に噴出孔を設ける場合には、噴出孔から、洗浄水の導水方向とは逆方向に洗浄水を噴出する必要がある。また、便器の供給孔の前方には、すり鉢状のボール部が形成されており、このボール部内をまたいで導水路を形成することはできない。このため、供給孔と噴出孔とを連通する導水路は、供給孔からボール部方向に直線的に向かった後、ボール部に至る手前で屈曲し、ボール部内の排出口の外側を周回して噴出孔に至る形状に形成されていた。(例えば、特許3651005)